

# 山協ニュース

岩手県山岳協会  
第193号  
平成28年1月9日発行  
long-distance.jp/sangaku/

## 新春を迎えて

岩手県山岳協会  
会長 高橋時夫

新年明けまして おめでとうございます。

今年の元旦は、眩しいほどに輝く日の出に国体成功と、山の日制定、そして安全登山を祈願してのスタートとなりました。昨年は、東北総体七連覇、盛岡一高女子インターハイ優勝、紀の国わかやま国体少年男子ボルダリング5位、リード6位、アジアユース・マレーシア大会での伊藤ふたば選手のリード・ボルダリング優勝、協会主幹行事の残雪期、岩登り、沢登り、初冬期、冬山等講習会の定期的な開催、堅実な八合目避難小屋管理、少年少女登山教室、鞍掛トレラン、加盟団体交流会、年間八回を数える各種スポーツクライミング大会開催等関係市町、加盟団体、参与会、指導員会、役員各位のご協力のもと大きな成果を収め、新年を迎えることが出来ました。

今年は、東日本大震災で一時的に開催さえ危ぶまれた「希望郷いわて国体・いわて大会」本番。

開催県というプレッシャーを「挑戦のための力」に変えて、選手強化、運営に加盟団体の皆さん、盛岡市実行委員会との連携のもと成功に向けて一つ一つ、しっかりと準備して岩手らしい国体となるよう皆さんと共に頑張りたいと思います。また、本年8月11日国民の祝日「山の日」施行を契機として安全で楽しい登山を多くの県民に啓発するとともに山での事故防止に努めて行きましょう。

6月には、ジャパンカップいわて大会、ボルダリング大会が国体リハーサル大会として開催されます。8月のIOC総会でスポーツクライミングがオリンピック種目として正式決定されることを願い、その普及と全国、世界に通じる選手育成も重要な柱となってきました。

また、登山界を取り巻く環境が劇的に変化するなか、山岳協会の役割として加盟団体の活性化も重要な課題となっています。登山とスポーツクライミングの二つの柱をいかにしっかりと根付かせ調和のある協会運営を進めていくかが喫緊の課題

と云えます。協会は、競技団体でもありその使命は、まさに広範囲にわたっています。遥かかなたの峰を目指して登るが如しです。

岩手県山岳協会には、先輩の皆さんが70有余年にわたって培ってきたしっかりとした礎があります。

時代の変化、新たな波に果敢に挑んでいきましょう。結びに皆様の今年一年のご健勝ご多幸を切にご祈念申し上げます。

## アジアユース選手権マレーシア大会

伊藤ふたば (松園中一年)

### リード・ボルダリング 二種目で優勝

12月2日から6日までマレーシア・プルトジャヤで開催されたアジアユース2015マレーシア大会の女子ユースC(2002・2003年生)に日本代表として出場した伊藤ふたば選手(松園中一年)がボルダリング部門、リード部門でみごと金メダルを獲得。初の国際大会で素晴らしい成績を収めました。同部門には、アジア各国から20人が出場。日本代表の伊藤選手は、予選はリード、ボルダリングとも一位で通過、6人で競う決勝へ進出。決勝でも実力を発揮し堂々の優勝。

初めての国際大会でもあり緊張してのアテンプトだったが、落ち着いてルートを読み立派な成績をおさめました。

12月28日には、谷藤盛岡市長、八重樫県教育委員長、高橋教育長、(公財)県体協鈴木清也事務局長に優勝報告。国体の機運の盛り上げ、そして自らオリンピックを目指しての目標を力強く誓っていました。

伊藤選手は、国際大会に向けて日本山岳協会の強化選手指定も受け1月4日から一週間イタリア、トリノで実施される海外遠征合宿に参加しフランスやイタリアの選手と合同練習を行い更に上を目指しています。

国体強化選手と併せて応援していきましょう。

## 全国高等学校選抜クライミング選手権大会 山内響選手(盛南二年)堂々の三位表彰台へ

12月23日と24日に埼玉県加須市で開催された第6回全国高等学校選抜クライミング選手権大会で、山内 響(盛南南2年)が堂々の三位入賞。和歌山国体で結果を出し、高校選手権での三位は、1位、2位が現在3年生であることを考えると、これまで黙々と地道にトレーニングに励んできた成果であり大いに賞賛したいと思います。

本大会には、岩手から佐々木建彰(岩高1年)が19位、佐々木勲人(黒工)55位、宮崎克康(盛南)86位、女子では盛岡南の熊谷滯68位、盛岡一高の越前谷花絃80位、近谷岬81位。二人での学校対抗では盛岡南高校が9位、盛岡一高が21位となりました。

スポーツクライミングのオリンピック追加種目の動きの中、次代を担う中学生、高校生の活躍は、希望郷いわて国体にとっても大きな弾みになっています。

### 平成27年度初冬期講習会兼指導員研修会 (報告)

本格的な冬山シーズンの到来。恒例の初冬期冬山講習会兼指導員研修会が12月5日(土)・6日(日)の2日間早池峰山で実施。講習会には、10人が参加。

12月5日(土)13:25 峰南荘駐車場出発。例年より積雪は少ないが、岳のゲートから雪を踏みながらのスタートである。進むにつれて積雪は増し、うすゆき山荘付近は80cmほどだ。

15:35 うすゆき山荘着。到着後、明日の予定を確認し懇親会に突入。各自1Lの灯油を持参していただき、うすゆき山荘にある灯油ストーブを利用していただいた。実に快適であった。暖か



いストーブを囲み懇親会も大いに盛り上がった。

12月6日(日)それぞれが朝食を済ませ、06:00 うすゆき山荘を出発。スタートからワカン、スノーシューを装着し膝程度のラッセルをしながら進む。

06:40 にビジターセンターを通過、すぐに先頭が川を横切る際に雪を踏み抜きスノーシューを濡らしてしまう。雪がスノーシューにくっついてしまい苦勞する。

その後も沢を横切る際にワカンやスノーシューを濡らしてしまい苦勞している参加者が数名。3度目の沢を渡った後は傾斜のために腰ほどのラッセルを交代しながら突破する。

08:10 「頭垢離」の手前の窪地で休憩。「ゴザ走り」下でアイゼンを装着。この付近から風は非常に強くなり、「ゴザ走り」上部では目を開けるのも厳しい状況。「打石」で小休止し、「仙丈岩」上部でさらに風が強さを増す。「仙丈岩」から上部は特に風が強いことと、この後1時間ほど時間を要してしまうと駐車場に到着する頃は真っ暗になってしまうことから、行動を中止して下山することとした。

11:00 最高地点下山。12:52 ビジターセンター着。皆で早池峰をバックに記念写真撮影。13:20 うすゆき山荘着。13:50 うすゆき山荘発。15:10 峰南荘駐車場着。

参加者 土井祐之、駒ヶ嶺智裕、中島隆之、八重樫鶴代(北上山岳会) 盛合敏男(福岡山好会) 渡邊美智子、松山貴明(岩手アルペンローズ) 寺内宏晋、鬼川博昭(高体連) 及川トミ(盛岡山想会) 記録 土井



## 第13回岩手県ボルダリング大会開催

11月22日(日) 県営運動公園ボルダリング場で第13回岩手県ボルダリング大会が開催され、初冬に入り、天候が心配されましたが、穏やかな天候にも恵まれ156名の選手が5種別で熱戦を展開。会場には、仲間や家族等たくさんの観客が来場。大きな声援を送っていました。

今大会は、エキスパートも含めて今年一年の総括ともいえる大会で、ビギナーからオープンまで幅広い層の選手が参加。国体入賞の山内、中島選手や、成年男子の藤原、昆選手、成年女子の金澤千怜、立花里実、山瀬奈々子らも久しぶり出場し元気なパフォーマンスを披露してくれました。

### 大会結果

- ・ジュニア男子
  - 1位 似内 舜明 青山小6
  - 2位 桜井 舜也 城南小6
  - 3位 七戸 矜仁 付属小4
- ・ジュニア女子
  - 1位 関川 愛音 八戸湊小6
  - 2位 藤原 杏 鵜飼小6
  - 3位 七戸 矜仁 付属小4
- ・ビギナー高校生以下男子
  - 1位 矢部 魁一 盛岡一高1
  - 2位 浅石 絢平 青山小6
  - 3位 米倉 司哲 岩手中2
- ・ビギナー高校生以下女子
  - 1位 三角 唯香 青山小6
  - 2位 菊地 寧々 東北高
  - 3位 越前屋花紘 盛岡一高1
- ・ビギナー一般男子
  - 1位 伊能 章裕 遠野市
  - 2位 菊池 晃史 遠野市
  - 3位 高村 大生 盛岡市
- ・ビギナー一般女子
  - 1位 大坪 智美 滝沢市
- ・ミドル高校生以下男子
  - 1位 外館 聖大 盛岡農業高2
  - 2位 山田 詢介 岩手高2
  - 3位 大山 廉 黒沢尻工業高1
- ・ミドル高校生以下女子
  - 1位 佐藤 涼香 東北高2
  - 2位 工藤 朝花 厨川小5
  - 3位 熊谷 漣 盛岡南高2
- ・ミドル一般男子
  - 1位 小坂 尚生 矢巾町
  - 2位 斉藤 直 八幡平市
  - 3位 佐藤 由治 盛岡市
- ・ミドル一般女子
  - 1位 猿舘 加奈 盛岡市
  - 2位 古川 祥子 青森県平川市
  - 3位 小笠原咲子 盛岡市
- ・マスター高校生以下男子
  - 1位 長澤 青空 東北高2
  - 2位 昆野 玲士 岩手中2
  - 3位 浅石 颯汰 厨川中3
- ・マスター一般男子
  - 1位 石坂 晋哉 八幡平市
  - 2位 高田 一光 滝沢市

- 3位 押切 直斗 北上市
- ・マスター一般女子
  - 1位 山瀬奈々子 女子栄養大学1
  - 2位 金澤 千怜 青森県五戸町
  - 3位 坂本 康子 盛岡市
- ・オープン高校生以下男子
  - 1位 山内 響 盛岡南高1
  - 2位 中島 大智 花巻中3
  - 3位 竹田 創 宮城柳生中1
- ・オープン高校生以下女子
  - 1位 伊藤ふたば 松園中1
- ・オープン一般男子
  - 1位 藤原 佑樹 東京都
  - 2位 昆 脩太 紫波町
  - 3位 長谷川健太 盛岡市

## 「全国高校総体登山大会、紀の国和歌山国体・アジアユース選手権大会」報告会及び希望郷いわて国体強化選手激励会開催

12月12日(土) 午後3時からサンセール盛岡で、「紀の国わかやま国体、」山岳競技、2015君が創る近畿全国高校総体登山大会・アジアユース選手権大会報告会及び国体強化選手激励会が開催されました。

会場には、来賓の盛岡市高橋元一スポーツ推進課長、八幡平市小山田克則スポーツ推進課長をはじめ選手監督、協会関係者等50人が出席して盛会に開催されました。高橋県山協会長、高体連岩澤登山部長の挨拶、盛岡市の高橋課長の祝辞を頂き、インターハイ優勝の盛岡一高吉田みどり、新里亜子、山村あゆ、佐々木薫選手、佐藤幸久監督、国体少年男子山内 響、中島大智選手、新田亮一監督、アジアユース・マレーシア大会ユースC優勝の伊藤ふたば選手に協会表彰規程に基づき表彰状が授与されました。

受賞者の謝辞の後、畠山晃選手強化部長から、国体報告、佐藤幸久監督からは、インターハイ報告、国体強化選手の成年男子昆修太選手、立花里実、坂本康子選手ら強化の皆さんにはささやかな激励品が贈られ、和歌山国体での経験、インターハイでの感想と今後の取組への抱負が各選手から述べられご懇親に入りました。

特に、選手各位からは国体に向けて力強い決意が述べられ、まさに希望郷いわて国体に向けての結団式の雰囲気でした。

古澤勝三協会顧問  
平成27年度(公財)日本体育協会  
公認スポーツ指導者表彰

高橋時夫協会会長  
(公財)岩手県体育協会体育功労表彰受賞・

盛岡第一高校登山部

吉田みどり、新里亜子、山村あゆ、佐々木薫選手・佐藤幸久監督(公財)岩手体協指導者・選手栄光受賞

協会顧問の古澤勝三氏が長年にわたり安全登山の啓発と登山技術の指導等への貢献が認められ、(公財)日本体育協会から永年公認スポーツ指導者として表彰されました。古澤顧問は、高体連登山部の役員として高校生の登山技術の指導や一般山岳会会員への指導実績が認められたものです。また、協会会長の高橋時夫氏も登山を通じて本県のスポーツ振興、発展に寄与したことにより県体協体育功労賞を受賞されました。お二人には、今後とも長年培った登山経験と登山の楽しみ等について後進の指導にあたって頂きますようお願いしたいと思います。また、盛岡一高登山部女子には、これまで本県でなしえなかった連覇目標に佐藤幸久顧問を中心に挑戦を期待したいと思います。

## 協会名誉会員・顧問懇談会の開催

平成27年度岩手県山岳協会名誉会員・顧問会議が、12月13日(土)サンセール盛岡で開催。会議には名誉会員出堀宏明、中谷 充、斉藤善也の各氏、顧問の工藤洋司、渡辺正蔵、国本旗男、松尾寿、角掛喜美夫、佐藤時男、川村芳正、波岡浩、小泉昌弘の各氏。執行部からは高橋時夫会長、鈴木主計、岩澤健二、吉田春彦、西舘正治各副会長、小山勝稔理事長、畠山 晃、佐藤幸久副理事長、遠藤敏英、佐藤 誠、千葉真英、植田瑞穂各部長、中村浩之理事の22名が出席。高橋会長から、最近の日山協の動き、理事長等からは各部の活動状況が計画通り執行されたことが報告されました。顧問からは、国体強化への対応、スポーツクライミングの普及と登山との係わり、加盟団体のための協会への期待等の意見が語られました。会長からスポーツクライミングと登山の両輪での協会運営方針、加盟団体の新会員の加入促進と組織の活性化対策へのお願い等が話され大きな変革の時期を迎えていることが強調されました。

遭難事故防止や大衆化している登山の安全のためにも登山愛好者の組織化も併せて進めていく必要があります。協会の活性化と大きく変化しつつある登山界の中、皆で力を合わせていく必要があります。加盟団体の皆さんの各種講習会への若手は会員の派遣等積極的な対応をお願いします。

## 平成27年度東北総合体育大会山岳競技ブロック会議・(公社)日本山岳協会競技部ブロック別研修会は、八戸市で開催

11月28日(土)、29日(日)の二日間、八戸市で開催されたブロック会議には18名(岩手4、宮城4、秋田2、福島4、青森4)、運営員認定研修会16名(秋田2、山形2、青森12)日山協から高橋副会長、研修講師日山協競技部滝内常任委員が出席。

### 第一日目

#### ① 第70回和歌山国体の概要報告

- ・選手等への指摘事項として、受付の遅れ、受付提出書類に写真の添付がなかった、プログラム名簿ナンバーと選手カードの枝番違い、受付後の選手の行先不明(厳重注意)・動員観客数 B 6700人、L 7200人 計 13,900人 長崎国体より5000人増・授乳室の設置は良かった。保育士配置の託児所も欲しい。(岩手においてほしい。)
- ・全県が、ブロック予選大会に出場してほしい。・ドーピングに気を付けるよう注意、指導が大事。
- ・高体連にスポーツクライミングの公認指導員資格者が少ない。高校の顧問が資格を取れるよう配慮して欲しい。(国体と同様、監督資格要件と出来ないか。⑩ 課題としたい。)
- ・選手監督の変更理由の疾病等の等とは。

———身体の不具合、仕事の都合等

#### ② 公認審判員資格者の登録手続きの遅滞について

- ・日山協から今年11月までに各岳連(協会)に文書照会するということがまだ来ていない。また遅れるのか。⑩ 整理が遅れ申し訳ない。日山協の喫緊の大きな課題として取組んでいる。岳連(協会)の協力をお願いしたい。)

#### ③ ドーピングの事前申請制度について、周知をお願いします。

### 第二日目

- ① 運営員受講者を対象にテキスト、ビデオによる競技運営員研修を実施
- ② 東北地区ブロック会議  
ア 日山協理事会報告

## 齊藤喜代志東北ブロック代表理事報告

### イ 「日山協の現状と展望について」の講話への質問等

- ・審判員登録の未処理について、いつまでも先送りすることなく、しっかり対応して欲しい。
- ・ルート・セッター登録も、誰が資格を持っているかわからない。資格者の公表等活用について工夫が必要。審判員、セッター等日山協独自の制度に係る申請、登録、更新の流れと岳連(協会)との係わりを整理してほしい。誰が資格を持っていかかわからない状態である。
- ・審判員、運営員、セッター等資格取得者が分らなくて大会運営、選手強化、普及に支障をきたす。
- ・スポーツクライミング関係での日山協会長の諮問委員会について

日山協の名称も含めた諮問か。( @ 名称も含めて包括的な諮問を予定している。 )

- ・山岳共済関連研修補助金 50,000 円申請したが返信がない。迅速に処理して欲しい

### ウ 平成 27 年度東北総体報告(岩手)

- ・今年、来年の希望郷いわて国体の運営を想定して役員配置を行い予定通り終了。
- ・種別の違う選手間での情報交換があった。(アイソの設定、選手移動コースの検証)
- ・選手装着のアクセサリーに関して口頭抗議があった。文書を行うよう指導した。

### エ 平成 28 年度東北総体の開催について

- ・青森大会は、競技施設がないのが最大の課題。民間施設を借用して開催予定。
- ・リード 10m 以下の高さの施設で開催してよいか。 @ ルート設定調整で対応し開催。
- ・施設整備(特にリード施設)への開催市町村の対応が課題
- ・日山協からスポーツクライミングの普及のためにも施設整備促進への支援、指導が欲しい。
- ・県、市町村への働きかけに際して日山協からも文書要請できないか。体協からの働きかけ、公設施設としての整備のため県への働きかけも必要。

### オ 全日本登山大会報告

- ・当初 220 名申込み。10 名以上のキャンセル最終参加者 210 人+役員 80 人で実施
- ・日山協主催の全日大会開催に関して、日山協から日程、コースとか数とか先催県の例とか

主要事項についてマニュアル等示して頂ければ助かった。

- ・現在の全日本登山体育大会は、中高齢者の登山大会の感がした。楽なコースを敢えて設定したが、それでももっと楽なコースを作りたい等の要望があつた。次回、開催に向けてアンケート結果、参加者の意見等全日大会全体の検討。

### カ その他

- ・公認指導員資格者情報が県体協までで岳連(協会)に来ないので実態の把握が出来ない。
- ・SC 公認指導員有資格者と岳連(協会)として協力体制をとるのが難しい。
- ・SC の受験資格と取った後の資格者と岳連(協会)との係わりが不明。

## 国体選手強化募金

ありがとうございました。

今年も多くの方々か応援の募金 327,220 円 が寄せられました。心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

募金協力者名 35名 8団体 他

赤澤真其(裏岩手山岳会) 浅沼昭男(大迫山岳会)  
石鳥谷山岳協会 伊藤伸男(アルペノローズ山岳会)  
岩澤健二(高体連) 植田瑞穂(巖鷲山岳会)  
遠藤敏英(矢巾山好会) 遠藤政一(和賀町山岳会)  
及川憲一(和賀町山岳会) 小山勝稔(翌檜山岳会)  
川越鐵男(巖鷲山岳会) 鬼川博昭(高体連)  
北上山岳会 工藤洋司(岩手山の会)  
國本旗男(盛岡山想会) 熊谷浩志(盛岡山岳会)  
齋藤善也(水沢山岳会) 佐々木忠夫(巖鷲山岳会)  
佐藤俊一(悠々山の会) 佐藤 誠(都南山岳会)  
佐藤安美(和賀町山岳会) 澤田精一(早池峰山岳会)  
杉山健太郎(早池峰山岳会) 鈴木主計(早池峰山岳会)  
高橋時夫(翌檜山岳会) 高橋和夫(盛岡山岳会)  
滝沢市山岳協会 滝田章(悠々山の会)  
武田勝栄(巖鷲山岳会) 角掛喜美夫(滝沢市山岳協会)  
出堀宏明(盛岡山想会) 都南山岳会  
中谷 充(盛岡山岳会) 西館正治(アルペノローズ山岳会)  
藤原 功(滝沢市山岳協会) 藤原 豊(盛岡山岳会)  
古澤勝三(高体連) 盛合敏男(福岡山好会)  
盛岡 RCC 盛岡山想会  
盛岡山岳会 矢羽々昭夫(盛岡山岳会)  
矢巾山好会  
激励会参加者・大会参加選手

## 平成 27 年度公益社団法人日本山岳協会 第3回理事会報告

平成 27 年度第 3 回理事会は、11 月 8 日（日）岸記念体育会館で開催され理事 23 名監事 3 名が出席。八木原罔明会長の挨拶に続いて、議事に入った。

議案第 1 号 平成 28 年度事業方針案及び予算編成方針案については、企業協賛金は、今年の 310 万はナショナルチームユニフォームの協賛収入。来年は博報堂と契約してクライミング 6 大会をセールスして 4800 万円を得る予定でいる。「山の日」については、今年はプレイベントとして各ブロック毎に行った。来年は、各都道府県での開催を計画したい。また、8/11 というピンポイントではなく、7/11～9/11 までと期間を設けてイベントを行うように働きかけたい。来年の 8 月 11 日は上高地で「山の日」イベントを行うが全国「山の日」協議会が行うイベントである。自治体と連携により効果的に行うことも大事。議案第 1 号は承認可決。

議案第 2 号 就業規則、給与規程、退職手当で支給規程、表彰規程の改定については、承認可決された。

議案第 3 号 アンチドーピング規程の改定について、条項に出てくるシャペロン、ドーピング・コントロールオフィサーとは選手の監視(介添え)役で、ドーピング・コントロールオフィサーとは DCO と呼ばれ、検体採取の現場を管理する検査員のことである。議案第 3 号は承認可決された。

議案第 4 号 (公社)日本山岳協会スポーツ指導者規程一部変更(名称変更)は承認可決された。

業務執行理事の職務執行報告について各業務執行理事から報告した。

\* 亀井：国体予選のエントリーだが、今の山岳競技は団体戦でスポーツクライミング競技の現状からかけ離れている。県によっては、選手のスケジュール等により出場しない選択肢もある。

※競技施設規程の屋内原則論の取扱は、報告の通りである。

第 54 回全日本登山体育大会・宮城大会報告について、名称から「体育」という文字を取ることに関しては、普及委員会で検討していただき、常務理事会で決議することとする。

第 70 回和歌山国体山岳競技大会報告について、天皇杯は埼玉、皇后杯は長崎。視察は三笠宮親王妃子妃様、鈴木大地スポーツ庁長官、原日本協常

務理事・国体委員長によって行われた。14,000 人の観客があった。マスコミは 48 社に及び、視察は 99 団体を数えた。特にマスコミに対しては条件付きでアイソレーションルームへの立ち入りを許可した。選手の杉本怜が取材に応じ、中学生の出場も増えた。監督会議で 2020 東京五輪の説明を行った。アンチドーピング研修会を実施した。成績発表時に発表漏れがありお詫びした。また、少年男子ボルダリングの成績発表後に抗議があつて順位が入れ替わった。その判定に対して当該県から抗議があつたが却下した。

2020 年東京五輪追加種目に関わる報告 東京五輪組織委員会との一連の経緯について報告があつた。

ネパール大地震救援募金報告。

スポーツクライミング五輪種目化に関わる会長諮問委員会の設置については、2020 東京五輪に鑑み協会の名称変更を含めて提言を求めたい。

スポーツ庁の創設と新たなスポーツ行政について説明があつた。

平成 28 年度版「山岳遭難・捜索保険のご案内」及び山岳共済会葉について資料に基づき説明があつた。

内藤監事から監査報告を見ればお分かりの通り、所見の項目が多い。達成度を特別に見ているが、3 年も同じ状態が続いており、異常な状況だ。問題点の共有を図りたい。

## 第 13 回クライミングビギナーコンペ結果

本年度最後の協会事業となった第 13 回岩手県クライミングビギナーズコンペは、12 月 20 日(日)花巻市大迫体育館のリード壁で開催。大会には、ジュニア男子 8 人、ジュニア女子 1 人、少年男子 17 人、少年女子 3 人、成年男子 4 人の計 33 人が出場。

セッターは、いわて国体成年男子昆修太選手が担当。体育館での肌寒い中でしたが、懸命に立ちはだかる壁に挑戦しました。特に、必死に壁に取り付く日野徳治郎君(門真保育園)、日野圓志朗君(門真小 1, 年)、日野愛花(門真 4 年)の三兄弟の挑戦は会場から大きな拍手が送られていました。

大会結果

種別	第 1 位	第 2 位	第 3 位
ジュニア男子	米倉司哲 岩手中 2	熊谷宗平 岩手中 2	一戸 藍 岩手中 2

ジュニア 女子	日野愛花		
少年男子	舘岡 瑛 盛岡南高1	伊藤 光 盛岡南高2	藤原晴輝 岩手高1
少年女子	工藤朝花 上田小5	村山夏恋 盛岡農高1	工藤亜胡 盛岡農高1
成年男子	村上弘道 久慈市	菊池博文 花巻市	森 雅彦 矢巾町

## 第5回高校生クライミング選手権大会開催

第5回岩手県高校生クライミング大会は、第6回全国高等学校選抜クライミング選手権大会代表選考会を兼ねて11月1日(日)運動公園登山競技場で開催された。大会には、男子が盛岡一高、盛岡南、水沢工業、黒沢尻工業、岩手高校、女子は盛岡一高、盛岡南、水沢工業、黒沢尻工業、岩手高校の43人が出場。県高校一位と全国大会出場権をかけた戦いが展開されました

この大会で上位入賞した男子の山内響(盛岡南2年)、佐々木建彰(岩高1年)、佐々木励人(黒工)、宮崎克康(盛岡南)、女子では盛岡南の熊谷滯、越前谷花絃、近谷岬選手が全国大会出場権を獲得しました。団体では、男子盛岡南、女子は、盛岡一高が出場権獲得。

種別	順位	氏名	所属
個人 男子	第1位	山内 響	盛岡南高校
	第2位	佐々木 健彰	岩手高校
	第3位	佐藤 励人	黒沢尻工業高
個人 女子	第1位	熊谷 滯	盛岡南高校
	第2位	佐々木 薫	盛岡第一高
	第3位	越前屋 花絃	盛岡第一高

## 岩手県に

### 国体ボルダリング競技壁移設・設置要望

11月13日高橋協会会長と畠山晃副理事長兼選手強化部長が県庁を訪ね八木スポーツ推進課総括課長と面談し、岩手県教育長あての「岩手国体ボルダリング競技壁面の移設と県営運動公園内に壁面を移設するためのプレハブ棟設置」の要望書を提出しました。

要望理由として、スポーツクライミングが東京オリンピックの追加種目として推薦されることが決定。今後利用者の急増と競技の国際化が見込まれる。一方、現在のボルダールームは非常に痛み

が激しいので、岩手国体ボルダリング壁との併用のご検討を要請。要因として、現ボルダールームは近年の利用者急増でマットが痛み、凸凹を生じ利用者の転倒、捻挫が懸念される。また壁面も非常に痛み、過剰利用の状態である。(8/24付 岩山協強6号)で要望のとおり改修が必要。改修後に再び利用者が集中すれば、短期間で施設が痛むことが心配される。岩手国体ボルダリング壁との併用で利用者の分散を図りたいこと。また、県営運動公園クライミング施設の利用者はH24、16,952人、H25、20,291人、H26 22,369人と近年大幅に増加している。オリンピック競技に正式決定されれば更に増加が見込まれ、現ボルダールームはすでに過剰利用の状態、今後の利用者増加を岩手国体ボルダリング壁の活用で対応していきたい。

・先催県和歌山、後催県愛媛の両県ともオリンピック競技を視野に入れ、国体壁の再利用を計画に入れている。岩手でも移設を行えば、国際大会に対応する新壁面をそのまま、岩手国体の遺産として有効に活用することができること。岩手ではすでに日本代表として国際大会に出場するユース選手達が内定している。オリンピックを目指した選手育成に岩手国体ボルダリング壁をぜひ再利用させていただきたい。以上の要旨で要望しました。

## 平成28年度岩手県山岳協会

### 定期総会の開催のお知らせ

平成28年度岩手県山岳協会定期総会は、  
**2月6日(土)午後1時30分から盛岡市・サンセール盛岡**で開催されます。総会議題として平成27年度事業、決算報告、平成28年度事業計画、予算等が予定されています。今年は、希望郷いわて国体本番を迎え、本格的な準備やリハーサル大会の開催など大事な事業も予定されています。加盟団体代議員及び役員の皆さんの出席をお願いします。

## 2016 希望郷いわて国体山岳競技情報⑫

### 第1回県山協国体実行委員会開催

国体山岳競技の第1回実行委員会が12月2日(水)、県体協会議室で開催。会議には、高橋、鈴木、吉田、西舘、岩澤、小山、遠藤、佐藤(誠)、植田、佐藤(俊)、盛合、村上、土井、寺内、中村の各

委員が出席。(欠席 武田、畠山、佐藤(幸)、千葉(真)、山口)

会議冒頭、高橋会長から、国体準備も本番、強化選手の皆さんも今、一生懸命頑張っている。運営面でも、皆さんの協力も連携を取って成功に向けて頑張っていきたい。特に、組織的に対応し出来るだけ一部の人に極端に負担がかからない様、連携、協力体制をとっていきよう願います。実行委員会は、県山協の国体山岳競技の意思決定機関と調整機関として機能して行きたい。と挨拶。

#### 1 協議

- (1) 希望郷いわて国体山岳競技準備経過及び予定(第1次について 配布資料で確認。
  - ・常に経過の確認と今後の予定(行わなければならないこと。)を念頭において取り組む。
  - ・来る3月20日(日)のボルダリング大会は、本番想定競技役員研修会として開催する。  
準備等分担の確認 総務部、競技部
- (2) 希望郷いわて国体岩手県山岳協会実行委員会での主な対応事項について 別紙資料・
  - ・先催県からの送付事項の確認。特に今年度開催の和歌山県山岳連盟からデータの提供頂いた。
  - ・国体山岳競技運営委員の役割分担について  
11月8日開催の全体研修会で依頼済の各係主任名について選任のうえ事務局へ報告。  
併せて、研修会の各部、係打合せで出た意見、質問、要望について整理のうえ12月20日までに総務部長へメール報告願いたい。
  - ・国体山岳競技組織図案に沿っての役割分担、各運営員への通知方法(文書、説明会等)
- (3) 国体事務局体制について
  - ・協会事務局とは別に国体事務局を総務部内に設置する。分担、体制については、総務部と理事長で調整して次回までに報告する。なお、会計は兼任を避けること。
- (4) メーリングリストの運用について
  - ・実行委員会委員への連絡、報告等円滑にするため出来るだけメーリングシステムを活用する。12月から運用する。意見、要望については、担当部署でその都度返信することとする。各部にまたがる事項や重要事項については実行委員会に付すこと。
- (5) 各部署別会議等経費(交通費支弁等)の予算化について
  - ・実行委員会出席委員への交通費支弁を行う。詳細は次回実行委員会に提示する。

- ・国体成功のため必要な会議に係る経費の予算措置を行う。協会2月総会で議決を得る。
- (6) 本国体、リハーサル大会の「実施計画書」「各担当部署別役員行動マニュアル」の作成。
    - ・先開県のデータを参考に各部署で責任を持って作成に入る。(先催県資料理事長保有)
  - (7) 平成28年度山協予算として国体・リハーサル大会特別会計の設置
    - ・平成27年12月24日までに編成案を作成する。(総務部)
  - (8) 総務部と盛岡市国体実行委員会山岳担当部署との会議を開催し意志の疎通を図る。
    - ・12月中に第一回懇談を行う。特に、役割分担の確認、擦合わせ、市実行委員化の予算措置の内容確認。(メンバー 盛岡市 担当課長、猪俣担当他、県山協 吉田副委員長、小山副審判長、佐藤総務部長、遠藤競技部長、植田輸送宿泊部長、中村会計責任者)確認
    - ・第1回基準会議  
二日間を予定する。(4月16日～17日)
    - ・日山協に資料提示を求め、一月の第3回実行委員会に具体的に提示する。
  - (9) 定例実行委員会の開催
    - ・毎月第一水曜日 午後7時から9時まで(公財)県体協会議室で開催することを確認。
    - ・日時、場所に変更が生じた場合のみ、その都度事務局より連絡。
  - (10) 希望郷いわて国体リハーサル大会の準備日程について 配布資料による。
    - ・次回会議で、改めて内容の検討、確認、分担等協議確認する。
  - (11) 次回委員会は、12月24日(木) 19時から 県体協会議室

#### 第2回県山協国体実行委員会開催

12月24日(木)、県体協会議室で開催。高橋、鈴木、吉田、西舘、岩澤、小山、遠藤、佐藤(誠)、植田、佐藤(俊)、盛合、村上、土井、寺内、中村の各委員が出席。(欠席 武田、畠山、佐藤(幸)、千葉(真)、山口)

- ・総務部事務局として鬼川理事を委嘱。総務部は、佐藤俊一部長、盛合副部長、中村会計担当、鬼川先生の体制でスタート
- ・国体予算案を確認。山協定期総会に提案することとする。



- ・盛岡市執行委員会との協議については、盛岡市の都合により1月に開催。

## 日山協山岳保険に入ろう

日山協の山岳保険は、年度中途でも加入できます。多くの山岳保険がありますが、日山協の山岳保険は、登山ばかりではなく、日常生活でのケガも対象になります。また、ボルダリングやリード壁等でのロープを使用したクライミングもピクニックコースで比較的負担の少ない掛金での加入ができる等の利点もあります。また、万一の賠償責任保険も加味されています。更に、加入者数によって山岳協会への還付金等もあり、万一に備えての加入をお奨めします。**年の中途での加入もできます。**

詳しい内容を知りたい方及び加入希望の方は、県山岳協会事務局へお問い合わせ下さい。

### 経過報告

- 11/22(日) 第13回ボルダリング大会
- 11/28(土)-29(日) 東北ブロック会議・日山協ブロック研修会
- 12/2(水) 第1回県山協国体実行委員会
- 12/5(土)-6(日) 初冬期講習・研修会
- 12/12(土) 第7回部長会  
名誉会員・顧問懇談会  
2015近畿総体・和歌山国体報告会・  
いわて国体強化選手激励会
- 12/20(日) 第13回クライミングビギナーズコンペ
- 12/23(水)-24(木) 第6回全国高等学校選抜クライミング大会
- 12/24(木) 第2回県山協国体実行委員会
- 1/7(木) 日山協常任理事会

### 今後の予定

- 1/9(土) 出堀宏明顧問叙勲祝賀会
- 1/13(水) 平成27年度会計監査
- 1/14(木) 第3回県山協国体実行委員会
- 1/18(月) 平成28年度第1回部長会
- 1/20(水) 平成28年度第1回常任理事会
- 1/23(土)-24(日) 指導員会インドア研修
- 1/27(水) 平成28年度第1回評議員会
- 2/6(土) 平成28年度定期総会